

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	運動学2
科目基礎情報					
開設学科	柔道整復科	コース名		開設期	後期
対象年次	3年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	教科書は「運動学」を持参する。必要に応じて資料を配布する。				
担当教員情報					
担当教員	後藤 勝正		実務経験の有無・職種	無	
学習目的					
取得を目指す柔道整復師免許が医療資格であることを十分認識し、資格取得後に患者の患部へ施術をすることを業務とするため人体の構造と機能を熟知する必要がある。運動学は人間の身体運動を科学的に研究する学問分野である。運動障害をもつ患者を診て治療を行うためには、人間の運動にかかわる身体の機能と構造についての基本的な知識を備えていなければならない。運動学を理解することで外傷・障害への手当てを担う専門家として国民の健康保持に寄与することができる人材育成がねらいである。					
到達目標					
運動機能の障害による異常運動とその度合いは、正常運動からの逸脱とその程度としてとらえられる。運動機能の障害を扱うとき、医学における診断にあたるものは、運動分析に基づく評価である。正常運動を基準値として障害の度合いを正確に分析した結果をもとにして治療が展開される。この科目では、柔道整復の特性を考慮して、骨・関節・筋の構造と機能に重点をおきつつ、運動学による姿勢や歩行の評価を学ぶことで医療現場における患者への指導管理の土台を形成することを目標にしている。					
教育方法等					
授業概要	人間の身体運動を科学的に研究する学問分野である運動学を学ぶことで、運動障害をもつ患者を診て施術を行うための、人間の運動にかかわる身体の機能と構造についての基本的な知識を備える能力を育成する。				
注意点	国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な応対ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の1以上欠席した者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	100%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 （口頭・実技）	0%			
	平常点	0%			
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	運動発達①		神経組織の成熟と乳幼児期の運動発達について理解する		
2回	運動発達②		小児の歩行の特徴について理解する		
3回	運動学習①		運動学習や運動技能と運動能力について理解する		
4回	運動学習②		運動技能学習の過程と学習曲線について理解する		
5回	上肢帯の運動 肩関節の運動		上肢帯に関与する骨・筋・関節の構造や機能について理解する		
6回	肘関節と前腕の運動		肘関節や前腕に関与する骨・筋・関節の構造や機能について理解する		
7回	手関節と手の運動①		手関節に関与する骨・筋・関節の構造や機能について理解する		
8回	後期7週までの振り返りと確認演習		1回～7回までの蓄積されているか確認する		
9回	手関節と手の運動②		手の筋活動と関節運動について理解する		
10回	股関節の運動		股関節に関与する骨・筋・関節の構造や機能について理解する		
11回	膝関節の運動		膝関節に関与する骨・筋・関節の構造や機能について理解する		
12回	足関節の運動		足関節に関与する骨・筋・関節の構造や機能について理解する		
13回	体幹と脊柱の運動		体幹と脊柱の運動に関与する骨・筋・関節の構造や機能について理解する		
14回	後期13週までの振り返りと確認演習		9回～13回までの知識が蓄積されているか確認する		
15回	まとめ		半期で取得した知識の確認		